

科 目 名	食品流通	単 位 数	2 単位	学 科・学 年	食品ビジネス 科	2 年																																											
使用教科書	食品流通 実教出版			副 教 材 等	視聴覚教材 プリント																																												
学 習 目 標	農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、食品流通とマーケティングに必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1)食品流通について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身につけるようにする。 (2)食品流通に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。 (3)食品流通の合理的な管理とマーケティングが経営発展へつながるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。																																																
学 習 評 価	○ 次の三つの観点に基づき、学習内容のまとまり（定期考査までを学習のひとまとまり）ごとに下の評価規準により評価を行い、学年末に5段階の評定に総括します。 <table><tr><td>①知識・技術</td><td colspan="5">食品流通やマーケティングに関するプロジェクト学習を通して、食品の品質管理や流通などに関する知識と技術を体系的・系統的に理解し、身につける</td></tr><tr><td>②思考・判断・表現</td><td colspan="5">食を巡る世界の動向、食生活と健康などから課題を発見し、食品流通や、マーケティングが果たす役割を踏まるとともに、食品の安全性や環境への配慮、法令遵守など職業人としての倫理観をもって、科学的な根拠などに基づいて創造的に解決する力を養う</td></tr><tr><td>③主体的に学習に取り組む態度</td><td colspan="5">合理的な食品流通やマーケティングの展開を通して、食品流通が人々の豊かな食生活を提供するという社会的な役割を担っていることを理解し、その振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う</td></tr></table>  <table><tr><td>評価方法\観点</td><td>①</td><td>②</td><td>③</td><td></td></tr><tr><td>学習状況観察</td><td>○</td><td>○</td><td>◎</td><td>自己評価の実施</td></tr><tr><td>ノート</td><td>○</td><td>○</td><td>◎</td><td>学習ノート</td></tr><tr><td>調査・調査レポート</td><td>○</td><td>◎</td><td>◎</td><td>調査・レポート</td></tr><tr><td>ペーパーテスト</td><td>◎</td><td>○</td><td>○</td><td>小テスト・定期考査</td></tr></table> ※表中の◎は観点の中でより重視するところです。						①知識・技術	食品流通やマーケティングに関するプロジェクト学習を通して、食品の品質管理や流通などに関する知識と技術を体系的・系統的に理解し、身につける					②思考・判断・表現	食を巡る世界の動向、食生活と健康などから課題を発見し、食品流通や、マーケティングが果たす役割を踏まるとともに、食品の安全性や環境への配慮、法令遵守など職業人としての倫理観をもって、科学的な根拠などに基づいて創造的に解決する力を養う					③主体的に学習に取り組む態度	合理的な食品流通やマーケティングの展開を通して、食品流通が人々の豊かな食生活を提供するという社会的な役割を担っていることを理解し、その振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う					評価方法\観点	①	②	③		学習状況観察	○	○	◎	自己評価の実施	ノート	○	○	◎	学習ノート	調査・調査レポート	○	◎	◎	調査・レポート	ペーパーテスト	◎	○	○	小テスト・定期考査
①知識・技術	食品流通やマーケティングに関するプロジェクト学習を通して、食品の品質管理や流通などに関する知識と技術を体系的・系統的に理解し、身につける																																																
②思考・判断・表現	食を巡る世界の動向、食生活と健康などから課題を発見し、食品流通や、マーケティングが果たす役割を踏まるとともに、食品の安全性や環境への配慮、法令遵守など職業人としての倫理観をもって、科学的な根拠などに基づいて創造的に解決する力を養う																																																
③主体的に学習に取り組む態度	合理的な食品流通やマーケティングの展開を通して、食品流通が人々の豊かな食生活を提供するという社会的な役割を担っていることを理解し、その振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う																																																
評価方法\観点	①	②	③																																														
学習状況観察	○	○	◎	自己評価の実施																																													
ノート	○	○	◎	学習ノート																																													
調査・調査レポート	○	◎	◎	調査・レポート																																													
ペーパーテスト	◎	○	○	小テスト・定期考査																																													
履 修 上 の 注 意	◇授業は必要に応じ、板書したり、プリント等を利用するので、ノートやファイルとじを用意してください																																																

学期	月	学 習 内 容	時 数	学 習 の ね ら い	学習活動(評価方法)
1 学期	4	第1章 現代生活と食品流通 1 流通のはじまりと発展 ①私たちの生活と流通	24	流通とは何かを消費者と生産者との関係から学びます	教科書・学習プリントに則して、板書・図表等を活用し諸項目を系統的に学習します 【学習状況観察】 【ワークシート】 【小テスト】 【定期考査】 【自己評価】
	5	②自給自足、物々交換から市へ ③近代的な流通の発展		流通を考える上でその発展の過程として物々交換から市への変遷を学びます	
	6	2 流通の働き ①生産と消費のへだたり ②物流、商流、情報流 ③流通と費用 ④流通を支えるしくみ		生産と消費の物理的、人的、時間的隔たりを学びそれを埋める物流、商流、情報流について学びます	
	7	3 食品流通の役割 ①生活に欠かせない食品流通 ②食品流通に求められるもの		取引の単純化と多段階化について学びます 米騒動やBSE問題等を学び今食品流通に求められているものを学びます	
2 学期	9	第2章 経済活動と食料 1 経済発展と食糧消費 ①経済システムの基本	26	市場経済システムや経済活動の指標について学びます	教科書・学習プリントに則して、板書・図表等を活用し諸項目を系統的に学習します 【学習状況観察】 【ワークシート】 【小テスト】 【定期考査】 【自己評価】
	10	②所得水準と食糧消費 2 世界の食糧事情 ①増加する人口と食糧生産 ②世界の食糧需給：輸出する国、輸入する国 ③グローバル化する食品流通をめぐる諸問題		エンゲル係数と所得水準についてとらえ生活の高度化について学びます	
	11	3 日本の食生活、食糧需給と自給率 ①日本の食生活		世界の人口増加の現状と栄養面でみた世界の実情をとらえ世界の食糧需給状態を学びます	
	12	②日本の食料需給と農産品貿易 ③日本の食料自給率 4 私たちをとりまくフードシステム ①フードシステムのしくみ ②フードシステムを構成する産業		日本の食生活の洋風化、外部化の原因をとらえ栄養面でみた日本の食生活を学びます 日本での食糧生産と輸出入について学び、関税や輸入障壁の現状を学びます 食品に関連する産業の分類についてとらえ、その地位・構成する産業について学びます。また、食料の生産・流通・消費に関わる廃棄物問題や環境・資源問題について学びます	
3 学期	1	第3章 食品流通のしくみと働き 1 食品流通の特徴 ①商品の特徴 ②生産の特徴 ③需要の特徴	20	商品としての食品の特徴をとらえ農業と他産業の違いを知った上で食品の需要の特性を学びます	教科書・学習プリントに則して、板書・図表等を活用し諸項目を系統的に学習します 【学習状況観察】 【ワークシート】 【小テスト】 【定期考査】 【自己評価】
	2	2 食品流通のしくみ ①流通経路 ②流通の担い手（卸売業者） ③流通の担い手（小売業者） 3 価格の形成と流通経費 ①価格の決定 ②販売価格の形成		流通経路の概要をとらえ、卸売業者や小売業者の役割を学びます 需要曲線、供給曲線について知った上で価格決定のしくみや販売価格の構成について学びます	